

2024 年度

ニチイキッズ福島いずみ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。

また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 6 日（月）～1 月 31 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月25日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、会議等で定期的に理念の内容を理解し、保育理念に沿った保育計画の作成、子どもとの関わりへ意識付けの場を設けている。
子どもの発達援助	子ども一人一人の気持ちに寄り添い、その子に合わせた関わりに心掛けた。 週案会議での共有や職員会議等で事例を挙げ、園としての援助の仕方を考えていく研修の場を設ける事で、全職員で保育していくまとまりが出来た。食事や排泄など、家庭の様子を聞きながら、無理なく進めていった。職員間で個々にあった言葉かけや援助などを共有し、継続性ある関わりで子どもの望ましい発達が期待出来るよう努めた。
保護者に対する支援	保護者と一緒に子どもの成長を見守り、言葉かけや対応など誠実に行うことを園全体で意識し、コミュニケーションを取りながら、信頼関係の構築に努めた。 子育ての悩みや相談は、安易に返答することなく園全体で共有し、よりよい支援となるように話し合いの機会を作り、家庭との連携を持つようにした。
保育を支える組織的基盤	外部、内部研修の参加や定期的な園内研修、職員会議を実施し全職員のスキルアップに繋げた。不適切保育に対する意識を高めると共に、意識改革をしていった。 業務の標準化を徹底していくために、定期的なマニュアル確認や言い合える職場環境に心掛けた。

総評
保育理念や保育方針を基に、子どもの最善の利益を念頭に置いた保育を行うため、年齢に合わせた保育計画を立て、子どもの発達に応じた支援に努めた。子ども理解、保護者理解を深めるため、外部、社内、園内研修等で他園職員との意見交換を含めた知識が学びとなると共に、意欲と繋がった。これからも専門性を活かし、保護者や地域に寄り添った、子どもと保護者が安心して通える園にしていきたい。